

環境保全活動を支える
ソーシャルファイナンス促進事業
コミュニティ・ユース・バンク momo

コミュニティ・ユース・バンク momo

〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2階
http://www.momobank.net/

環境保全活動を行うNPOなどが、資金など必要な経営資源を社会から集めることができる「ソーシャルファイナンス」を実現するため、NPOや市民、金融機関同士の情報共有を図る。(一般助成)

地域のお金を地域で生かす 「お金の地産地消」に向けて

わたしの暮らすまちで、子
や孫がずっと、暮らして
いけるように。コミュニティ・
ユース・バンクmomo(※1)は、
愛知・岐阜・三重の東海3県を
対象に市民からの出資金をNP
Oなどの地域を豊かにする事業
に融資するNPOバンク(※2)

です。バンクといっても、mo
moに出資することは「預金」
にはなりません。「こんなまちや
未来をつくりたい」という地域
に住む人々の強い思いのこもつ
た「志金」が、元本の保証も金
銭的な配当もないこの仕組みを
支えています。

momoでは2010年
7月現在、389の個人・
団体から出資を受け、13の
団体・個人に融資していま
す。momoによる融資の
特徴は、出資者による融資
先訪問ツアーを実施するな
ど融資先の情報を共有する
ことで、「出資者」(市民)
と「借り手」(NPOなど)
がつながり続けること。m
omo主催で開催された
「ソーシャルファイナンス
研究会2010」第1回研
究会(6月19日開催。東海
労働金庫本店別館・名古屋
市)では、融資先の一つ、



ソーシャルファイナンス研究会では、これまでに国内外の事例を学ぶセミナー、金融機関の取り組み状況調査、NPOが資金を確保するための体験講座などを実施

岐阜県郡上市のNPO法人「こ
うじびら山の家」が、田舎の遊
びや暮らしを楽しむための体験
プログラムの提供や、若者の定
住促進事業などの取り組みにつ
いて活動報告。momoによる
融資で、こうじびらでは活動拠
点となっている施設を改修する
ことができました。



NPO 法人「こうじびら山の家」が行う体験プログラムでのひとコマ。山でたき木を集める参加者

「地域の資源を生かし、地域で
働きながら暮らしていける仕組
みが、こうじびらにはあります。
しかし、財政基盤が弱いNPO
が活動のために資金調達するの
はとても困難です。地域に住む
私たちのお金を地域に住む私た
ちの暮らしに生かされる形で循
環させたい。これが、momo

の目指す「お金の地産地消」で
す」(momo代表理事・木村真
樹さん)

若者を中心に約50名が参加し
た第1回研究会では、「お金の地
産地消」のスタート地点である
「志金」をいかに集めるかも話し
合われました。活動を行うため
に必要な経営資源を地域社
会から募るソーシャルファイナ
ンスでは、より多くの人が地域
の活動に参加できる仕組みづく
りが重要だとの意見が出されま
した。一人一人が主体となって
地域の未来を考え、意思をもつ
て選択し、行動すること。「お
金の地産地消」は、地域が自立
するための道を探る試みだとも
いえます。

※1 2005年設立。若者を中心
としたボランティアスタッフ
「momorenジャー」が、団体
の運営、出資者・融資先をつな
ぐ役割を担う。団体名の「mo
mo」はドイツの作家ミヒャエ
ル・エンテによって書かれた
『モモ』に由来する。

※2 市民が自発的に出資した資金
により、地域社会や福祉、環境
保全のための活動を行うNPO
や個人などに融資することを目
的に設立された非営利バンク。